

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座・准教授
氏名 Name	竹原 新
専門分野 Academic Field	イラン民俗学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究
平成 28 年度は、主として次の研究活動を行った。 1. イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）による「イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究」（基盤研究（C）、平成 26-30 年度）を研究課題とするプロジェクトの研究代表者として、次の 3 点を中心とする研究活動を行った。 （1）イラン・イスラム共和国テヘラン州内において口承文芸に関する調査を行った。以前の調査における不明箇所の確認調査を行うと同時に、伝説や俗信の事例を中心に新規に調査を行った。 （2）以前に収集した資料の構造化に係る作業を行った。この作業においてはペルシア語の知識を有する学生の補助者を活用した。 （3）説話・伝承学会 2016 年度大会で行った「イランの怪談」をタイトルとする講演（2016 年 4 月 23 日、於同志社大学）で、イランには独自の世界観や恐怖感覚に基づく怪談群が存在し、それらが家族や親戚内で伝承されていることを示した。また、日本昔話学会 2016 年度大会におけるシンポジウム（2016 年 7 月 10 日）で、「イランの昔話とフィールドワーク」をタイトルとする発表を行い、昔話研究における民俗学的方法の発展の可能性は今後もフィールドワークにあることを示した。 2. 「日本の大学におけるペルシア語教育」に関するセミナー報告 平成 28 年度大阪大学国際合同会議助成事業の経費で実施されたセミナー「日本の大学におけるペルシア語教育」（開催代表者：藤元優子教授）で、「大阪大学外国語学部におけるペルシア語教育の歴史」をタイトルとする発表を行い、その内容は『イラン研究』第 13 号（大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻（専攻言語ペルシア語）、2017 年）、pp.3-8 に掲載された。	